

# 高祖蓮大士 750回御遠諱にむけての報恩を奉公

清流ニユーズ

## 年頭のことば

御講有 高須日良上人

宗内のみなさん、明けましておめでとうございます。新年にあたり、本山御宝前においてご一同とを慶ばしく思います。

新年にあたり、本山御宝前においてご一同として新型コロナウイルス感染症の拡大防止早期終息と、自然災害により被災した各地の速やかな復興をご祈願させていただきました。

昨年は、未だ収まらないコロナ禍の中、円安、物価高、地球温暖化による異常気象と自然災害の多発に加え、各地における紛争と、多難な一年でした。

そうした中、高祖蓮大士ご降誕八百年慶讃本山大法要が春、夏、秋の三回、全十八座に亘つて盛大に奉修され、全国から多数の教講が集いました。そして、本年三月の奉告大會を以て締め括られ、いよいよ高祖蓮大士七五〇回御遠諱に向けて新たなステージに入ります。

宗門としてはこれを機にご弘通の原点に立ち返り、少子高齢化等の問題に対応しつつ、これから時代に相応したご奉公をさせていただきます。

宗内教講各位は個々の信心改良はもとより、一天四海皆帰妙法の祖願達成に向けて、異体同心にて菩薩行に精進されることを念願し年頭の言葉といたします。

御教歌

「弘通には 過行方を 習はずに  
成行末の 人機はかれよ」

令和六年元旦

本門佛立宗第二十六世講有日良

御印

## 新年のごあいさつ

住職 長谷川 清泊

新年明けましておめでとうございます。

六年間にわたつて展開された高祖ご降誕八〇〇年慶讃ご奉公も、昨年をもつて無事円成となりました。

宗門全体で無事に誓願を達成、東京中央布教区でも目標

を大幅に更新して成就するなど、ありがたいお話ではあります。我が清流寺を見てみると目標三〇〇戸のところ二二四戸の成績、達成率七五%程度という、残念な結果に終わりました。

コロナ禍がなければ、といふわけでもなく、現実的にこれが今の清流寺の実力であり、偏に住職の力不足と反省せさせていただいております。

早いところでは慶讃ご奉公の三年目で既に目標を達成し、追加誓願も達成するお寺も沢山あり、そういうお寺のお助けをいただいて、何とか面目が保たれた、といった具合ですから、次こそはその挽回をさせていただき、今度こそ御宝前と先師先聖にお喜びいただけるよう、励ませていただきたいものです。

慶讃ご奉公が終わつてほつと一息、といった部分もあり

和十三年にお迎えする高祖日蓮大士七五〇回御遠諱となりますが、次の大きな節目は令和六年にあります。

また本年は「まことのお弟子檀那をふやそう」が大きなテーマとなつて御奉公が展開されます。

また本年は「まことの御会式のテーマとなつて御奉公が展開されます。

建長五年（一二五三年）四月二十八日に立教開宗されから弘安五年（一二八二年）十月十三日、武藏国（現在の東京都）池上宗仲邸にて御入滅をされるまで、お祖師さまの御生涯は常に「まことの人間」「まことの菩薩」を育てることにあつたといつても過言ではありません。

お祖師さまのみこころに叶う事、それすなわち御宝前の御生涯は常に「まことの人間」「まことの菩薩」を育てることにあつたといつても過言ではありません。

今現在、世界を見渡せば、お祖師さまのみこころに叶う事、それすなわち御宝前の御生涯は常に「まことの人間」「まことの菩薩」を育てることにあつたといつても過言ではありません。

例年掲げている御祈願で、続いて、本年度の総祈願をご披露させていただきます。

① 本年度教化誓願達成 学徒・教務員増加

ようお願い申上げます。

② 日序上人御廿七回忌・日堯上人五ヶ年報恩ご奉公

続いて、本年度の総祈願をご披露させていただきます。

③ 寺内・境内整備ご有志奉納推進 工事無事着工

五ヶ年報恩ご奉公の柱でもある寺内境内整備を、今年度より、いよいよ開始させていただきます。物価高騰の折、当初の予定よりも多少の計画変更を余儀なくされ、また納骨堂の屋根など、新たに修復していかなければならぬ箇所も増えてまいりました。

本年はまず、この納骨堂の

異体同心に、多くの人を救うことができるご信者、お祖師さま・仏さまが頤された、お助行御法門聴聞勵行・教養会内容充実・役中後継者養成

すが、国内の状況は相変わらずで、やはりまだまだ学徒も教務員も不足している状態です。

一人でも多く寺内のご奉公者が誕生するよう、誕生・育成に精進して参りたいところです。

うことができたところです。

すすんで邁進してまいります。

また、御講有猊下も年頭の

お言葉の中で「御弘通の原点

に立ち返り、少子高齢化の問

題に取り組んでいかなければ

ならない」と檄を飛ばされています。

私は、これからも無策のまま、手をこまねいて見ていているだけでは、必ずや急激な衰退を招きます。

宗内の大改良運動は、今現

在ご信心をさせていただいて

いる我々の心意気にかかつて

います。どうすれば次世代に

教えを伝えられるか、どうす

れば次世代のご奉公者を育て

られるか、一人ひとりの行動

が、未来を形作つていくこと

になります。

いつまでもこの御題目のご

信心が、人々の心に光を灯す

存在であり続けるよう、当山

としても積極的に取り組んで

まいりたいと思います。皆さ

まも何卒ご奉公いただきます

ようお願い申し上げます。

④ 本年度教化誓願達成 学徒・

教務員増加

例年掲げている御祈願で

す。昨年、豪州クイーンズラン

ド組にて、小倉清慎さんが、

清流寺待望の学徒としてご奉

公くださいることになりました。

本年はまず、この納骨堂の

屋根と東側外壁（大通りに面したブロック塀）の修復・整備を行っていきます。

お陰様で、皆さまから多くのご有志奉納を頂戴しております。未来永劫、清流寺が御題目のあがり続ける場所であるために、寺内の努力はもとより、ご信者の皆さまから外護は必要不可欠です。是非とも、教区部内の皆さまに趣旨をご理解いただき、お一人でも多くご奉納いただきたく思います。

**④甲乙御講席主・願主増加・共連れ参詣促進・ご奉公体制再構築**

開導聖人が信徒宅で初めて御講を奉修されたところから始まつた本門佛立宗、やはり御講こそが原点であり、この御講席を大事に思う姿勢を養つていかねば、報恩ご奉公はあり得ません。

同じ人が、例年通り、決まり御講を勤める、といった回数の御講を勤めます。この式が何年も続いてまいりましたが、これではやがて御講奉修が苦痛となり、随喜も失われてまいります。いよいよ少子高齢化が顕著となつた今、御弘通発展のためには新しい席主・願主の増加が急務であり、そこから光明も見えています。

また、他寺院のご利益談を拝見していると、お寺や御講席へのお参詣をおすすめし、ともにお参りに励むことで、後継者の育成や、御利益を得に繋がったお話を多数出でまいります。

御会式参詣者増加の為、まずはお連れすること。家族や教化算で一人が一人を連れてくれば、お参詣者は二倍になります。諦めず、何度もお声がけをしてお参詣者の増加を達成してまいりましょう。

本年から小平教区が武藏野教区へ編入となり、新しい体制の中で御奉公がスタートします。

本年から小平教区が武藏野教区へ編入となり、新しい体制が始まつて以降からでも、清流寺内の教区・部の体制は大きく変わつてまいりました。今一度、御奉公体制を見直す一年として、御奉公に励んでまいりたいと思います。

**⑤お助行御法門聴聞励行・教養会内容充実・役中後継者養成**

昨年とほぼ同じ項目となりますが、コロナ禍が落ち着いた今、各教養会でも活発なご奉公を展開し、新たなご奉公体制の構築、新規会員の増加・育成が、役中後継者を育てる御奉公にも繋がつてまいります。

未来へ繋ぐ御奉公は、一人の力だけではなし得ません。異体同心、お寺に携わる全員の力で築き上げてまいります。

本年は辰年、力強く空へと駆け上がる昇り龍のごとく、精いっぱい励ませていただきましょう。宜しくお願ひ申します。

御会式参詣者増加の為、まずはお連れすること。家族や教化算で一人が一人を連れてくれば、お参詣者は二倍になります。諦めず、何度もお声がけをしてお参詣者の増加を達成してまいりましょう。

約四年余にわたるコロナ禍が終息をみつつあり、一日も早くもとの姿にもどれる取組みが出来ることを切望しております。

さて、本年は日序上人御廿七回忌をおむかえ致します。

(一)本年の当山總祈願の実現にむけて、教講一体、異体同心で、尚一層の精進をさせて頂きましょう。

特に、お寺、御講に参詣されたご信者方には、みんなで「声かけ運動」を！積極的にお話しをさせていただきます。

(四)ご信者さんの高齢化、特にお役中さんの高齢化は、宗門全体でもすすんでいます。次世代信徒の育成は、特に急がれます。

各教区、部内でも話し合い尚一層のご尽力をお願い申し上げます。

(五)「本山初灯明料」について。ご家族全員の随喜奉納として本年も昨年にもましてこの奉納につとめさせて頂きましょう。

(六)昨年十二月一日の佛立新聞でご既承の通り、十一月八日に取りかかる予定です。

引き続きご有志奉納についてよろしくお願ひ申し上げます。

(三)法燈相続！毎年一月三日初總講での青薫会お子さん達へのご住職からの「お年玉」みなさん楽しみにしておられます。

私も大阪の清風寺くんげ会時代、大いにもりあがつた想い出の数々！ご信心の基本を教わつて成長し、今日があると思つてゐます。

未来の外護者をみんなで育てていきましょう。

お役中さんは高齢化、宗門全体でもすすんでいます。

本年も寺内各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、引き続きのご奉公をお願いしてご挨拶とさせて頂きます。

ありがとうございます。

**付記**

(一)ご既承の通り 土橋、内山参事と、長い間参詣課でご奉公されていた小澤 横口 さんも退任されます。

お役中さん（昭島教区）が参事としてご奉公されるようになりました。他の参事は変更なしです。

(二)清流壯年会の新役員は、別表の通り、十二月三日の定期総会で決まりました。念の為付記します。

以上

の臨時宗会で「宗門組織改革」に關する改正（案）は、否決され、今内局から提出された弘通区案は廃案となります。

東京中央布教区長で宗會議員の加藤日感導師より、令和六年以降も弘通区とはならず、従来通りの支庁、布教区制が繼續することになります。

とのご報告がありました。

本年も寺内各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、引き続きのご奉公をお願いしてご挨拶とさせて頂きます。

ありがとうございます。

**付記**

(一)ご既承の通り 土橋、内山参事と、長い間参詣課でご奉公されていた小澤 横口 さんも退任されます。

お役中さん（昭島教区）が参事としてご奉公されるようになりました。他の参事は変更なしです。

(二)清流壯年会の新役員は、別表の通り、十二月三日の定期総会で決まりました。念の為付記します。

以上

新年明けましておめでとうございます。

新年は本当に皆様にお世話をになりありがとうございました。

皆様の協力があつての

QLD組です。特に毎回配信をして下さつての御信者の皆様には心より御礼を申し上げます。

QLD組にとつて、反省、改良しなければいけないことが沢山出てきました。それぞれが泣き、悲しみます。

その試練を乗り越える為に

今年もどうぞ宜しくお願ひ致します。